

## 県立小田原城北工業高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	県立小田原城北工業高等学校 平成28年度 第3回学校運営協議会
開催日時	平成29年3月16日(木) 15時30分～17時
開催場所	県立小田原城北工業高等学校 第1応接室
[役職名] 出席者	<p>[会長] 長田 利彦 (元本校校長、東海大学講師)</p> <p>[副会長] 市川 道伸 (校長)</p> <p>[委員] 近藤 赳夫 (東栢山城北自治会長)、平塚 広 (小田原市立城北中学校長)</p> <p>星崎 陽子 (小田原市役所地域政策課)、井上 淳 (本校PTA会長)</p> <p>欠席: 宮内 守 (小田原市立桜井小学校長)</p> <p>[事務局] 宍戸 健一 (副校長)、岩崎 篤 (全日制教頭)、八田 直昭 (定時制教頭)</p> <p>石倉 一史 (総括教諭)</p>
審議(会議)経過	<p>1 会長あいさつ</p> <p>2 校長あいさつ</p> <p>3 協議</p> <p>(1) 今年度の学校の取組の報告 (宍戸副校長及び八田教頭) 資料をもとに説明</p> <p>(2) 学校評価部会からの報告及び今年度の総括、部会の設置について (市川校長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価部会のほか3部会を設置し、学校のすべてのグループが関わることとし、様々な形で地域との連携ができるよう取り組んでいく。</li> <li>・本日、学校評価部会を実施し、委員から意見をいただいた。</li> <li>・安全防災部会については、11月に定時制の行事である「防災講話」に地域の方が参加した。また12月には城北自治会との合同防災訓練を実施した。</li> <li>・学校評価部会からいただいた意見などをもとに、部会の整備を進め活性化を図っていく。従来の取組をさらに拡充するとともに新たな取組を検討していきたい。</li> <li>・人材リストを作成し、必要な時に場面・内容に応じて必要なメンバーが集まって、フットワークよく柔軟に活動できるようにしたい。</li> </ul> <p>(3) 委員からの意見聴取</p> <p>&lt;広報活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業高校の魅力特色をまだ十分PRできていないのではないかと。ロボット競技などの部活動については、具体的な活動が分かりづらい。工業高校の生徒が活躍している様子がホームページの動画で見られるようにするなどの工夫をするとよい。</li> <li>・広報については、SNSなどの活用も検討の価値がある。小田原市ではTwitterでの情報発信などすでにSNSの活用が始まっている。学校でもアカウントを作ることができるのではないかと。</li> <li>・広報活動は、誰に情報発信するかを常に意識して工夫する必要がある。高校においては中学生が一番近い存在であるので重視してほしい。実際にものづくりしている高校生の姿が見えるように中学生に向けて発信をしてほしい。</li> <li>・説明会への生徒の参加については、校内の説明会や合同説明会で実施をしておき好評を得ている。中学校での説明会についても今後検討したい。</li> </ul> <p>&lt;工業高校としての取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得は教員の生徒への働きかけが重要。それぞれの資格にどのようなメリットがあるのか、どう活用できるのかなどきめ細かく生徒に情報を伝えるべきである。</li> <li>・デュアル・システムはなかなかイメージがわきにくい。映像などがあるとよい。</li> <li>・インターンシップの参加者が少ない。学校として積極的に取り組んでほしい。早くから社会や仕事を体験させることは生徒にとって必ずプラスになる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ企業が少ないところでは、保護者に協力してもらおうとよい。自営業などの方は協力してくれるのではないかな。ぜひ呼びかけてみてほしい。</li> <li>・インターンシップは市役所でも受け入れている。中学生や大学生が中心だが、高校生についても協力できる部分があると思う。</li> </ul> <p>&lt;地域との連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールの先陣を切るのは大変だと思うが、これまでやってきたことや学校の特色を生かしてよく取り組んでいる。</li> <li>・コミュニティ・スクールに取り組む際には、何のためにやるのかを常に意識して、目的と手段を取り違えないようにしないといけない。在籍している生徒が自己肯定感・自己有用感をもてるような取組を進めてほしい。</li> <li>・安全防災部会の活動などは興味深く参加したかった。自治会との合同防災訓練を行う際には、ぜひ委員にも案内をしてほしい。</li> <li>・中学校には、修繕などが必要なところがある。可能なことがあれば城北の生徒に来てもらって、つくったり直したりしているところを中学生に見てもらってはとても意味があり、生徒や保護者にPRもできる。高校生の姿を見たり話を聞いたりできる機会があるとよい。ぜひ中学校を見に来ていただきたい。</li> <li>・中学校での説明会に生徒が参加すると中学生へのPRになる。顔が見えて効果的。</li> <li>・自治会のイベントのポスター作成などを、今後もぜひお願いしたい。</li> </ul> <p>4 情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間行事計画について（宍戸副校長） 授業時数確保の必要があるため、様々な工夫をしている。</li> <li>・PTA県西地区発表アンケート結果について（井上委員） 発表した本校の取組の中で、パッカー車のデザインペイントが好評だったが、あのパッカー車が街を走っていることは知っていても城北の生徒がデザインしていることはまだ知らない人が多い。更なる情報発信をしてほしい。</li> <li>・校内の教室配置の変更について（宍戸副校長） 教室の配置変更を新年度より実施する。これまで主に工業科ごとの配置となっていたホームルームを、学年ごとまとめて配置する形態に変更するとともに、保健室と進路指導室（資料閲覧室）のスペースを広くとる配慮をした。</li> </ul> <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会で話し合われた内容を職員に伝えて業務改善に役立ててほしい。</li> <li>・協議会でいただいたご意見の要点を職員会議で報告している。議事録のまとめもホームページに掲載しているので、職員及び関係者に周知したい。</li> </ul> <p>6 閉会あいさつ（長田会長）</p>
<p>会 議 資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 28 年度 第 3 回 学校運営協議会 レジューメ</li> <li>2 〔資料 1〕平成 28 年度 学校評価報告書（目標設定）</li> <li>3 〔資料 2〕全日制資料（生徒活動実績、魅力と特色ある高校づくりアンケート結果）</li> <li>4 〔資料 3〕平成 28 年度 学校評価報告書（実施結果）</li> <li>5 〔資料 4〕定時制資料（生徒活動実績、魅力と特色ある高校づくりアンケート結果）</li> <li>6 〔資料 5〕平成 28 年度 小田原城北工業高校コミュニティ・スクールの取組</li> <li>7 〔資料 6〕平成 28 年度 学校運営協議会学校評価部会アンケートまとめ</li> <li>8 〔資料 7〕校内研修会まとめ（全日制）</li> <li>9 平成 29 年度 年間行事予定案</li> <li>10 城北だより Vol. 1～4</li> </ol>
<p>次回開催予定日</p>	<p>平成 29 年 5 月</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>県立小田原城北工業高等学校 副校長 宍戸 健一  電話 番号 0465-36-0111  ファックス番号 0465-37-5425</p>